

在宅きたかみ

在宅医療介護連携支援だより

発刊：第25号
発行：令和6年
3月21日

★「星野先生の緩和ケア講座」が盛況のうちに5回すべてを終了しました★

岩手県立中部病院の星野彰副院長の絶大なる御協力のもと、5回シリーズの「緩和ケア研修会」が無事に終了することができました。この研修会は、企画段階から北上済生会病院と医療法人社団敬和会が関わり、市内の医療・介護関係者の反響も大きく、会場、オンライン合わせて169名の申し込みがありました。がん患者にやさしいまち、在宅医療・介護を推進する北上市にとって、今回の“ホスピス・ロードショー2023”は、とても有意義な機会となったのではないのでしょうか。詳しくは、在宅きたかみホームページをご覧ください。

第2回：令和5年10月23日(月) 18:15～19:15

講師：岩手県立中部病院 副院長 星野 彰 先生

演題：「インフォームドコンセントとアドバンス・ケア・プランニング」～医療を決めるのは誰？～

受講者：(会場+オンライン) 120名

座長：日高見中央クリニック 副院長 小池裕之 先生



第3回は認定看護師の和泉さんにお願ひしました



第3回：令和5年12月1日(金) 18:15～19:15

講師：岩手県立中部病院

緩和ケア認定看護師 和泉安弘 氏

演題：「緩和ケア病棟ってどんなところ？」～呼吸器症状/せん妄症状/コミュニケーション能力～

受講者：(会場+オンライン) 120名

座長：日高見中央クリニック 副院長 小池裕之 先生



第4回：令和6年1月23日(火) 18:15～19:15

講師：岩手県立中部病院 副院長 星野 彰 先生

演題：ゼロからのスタート！「がんの痛み止めの使い方」

受講者：(会場+オンライン) 120名

座長：日高見中央クリニック 副院長 小池裕之 先生



第5回：令和6年2月27日(火) 18:15～19:15

講師：岩手県立中部病院 副院長 星野 彰 先生

演題：「看取りのお作法と家族ケア」

受講者：(会場+オンライン) 120名

座長：日高見中央クリニック 副院長 小池裕之 先生



★第2回・第3回「医療・介護人材育成のためのテーマ型研修会」を開催しました

と き:令和5年10月25日(水)18:30~20:00
 ところ:北上済生会病院大会議室・オンラインあり
 受講者:45名(医療・介護・行政関係者)

今年度第2回となる「テーマ型研修会」について、岩手医科大学医学部助教であり、北上済生会病院で総合診療医としても御活躍をいただいております山田哲也先生を講師に迎え、「かかりつけ医とのうまい付き合い方」～プライマリ・ケア、総合診療を知っていますか?～と題し、プライマリ・ケアの性質や世界と比較した日本の特殊性について解説していただきました。また、“マルチモビディティ(多疾患併存)”と“ポリファーマシー”との関係性など、身近な業務においても役に立つ知識を身につけることができました。



受講者への問いかけを交えながら、プライマリ・ケアについて講義する山田先生

と き:令和6年1月31日(水)18:30~20:00
 ところ:北上済生会病院大会議室・オンラインあり
 受講者:51名(医療・介護・行政関係者)

今年度第3回の「テーマ型研修会」は、北上済生会病院消化器内科長の安部圭之輔先生を講師としてお願いし、「便秘のおはなし～高齢者の便秘と治療～」と題し、便秘のリスク、治療方法、高齢者等の排便ケア、薬物投与の影響、食生活の改善など、幅広くかつ詳しく講義をしていただきました。介護分野での仕事にも非常に役立つ内容であったほか、便秘症は QOL の低下を招き、生命予後にも影響を及ぼす病気でもあるという、参加者自身にとっても非常に興味深い学びになったのではないのでしょうか。



様々なデータや図を使って、今後も役に立つ皆さんの資料を提供いただきました

★「北上市入退院支援作業部会」主催の「ハンドブック研修会」を開催しました★

と き:令和6年2月14日(水)午後3時~4時30分
 ところ:北上済生会病院大会議室
 受講者:44名(医療・介護・行政関係者)



内 容:改訂版・入退院支援ハンドブックの改訂ポイントと活用方法
 グループワーク「ハンドブックの使い勝手はどうか?課題は?」

5年ぶりに改訂・発行した‘2023年度版北上市入退院ハンドブック’を活用した研修会を開催しました。県立中部病院等入院床のある医療関係者と、高齢者の在宅療養や施設入所でのケアに関わるケアマネジャー等介護関係者が一堂に会し、入退院時におけるそれぞれの役割と連携手法について、ハンドブックを活用しながら確認しました。講義の後にはグループワークを行い、「ハンドブックの使い勝手」について意見交換を行い、入退院時における医療と介護の必要な連携についての課題などを出していただきました。



たくさんの医療・介護関係者に御参加いただきましたが、ハンドブックの周知がまだまだ不足していると感じました



各グループから出された主な内容は次のとおりです。

- ◆退院、転院時の連絡調整やカンファレンス開催での連携不足
- ◆在宅情報の提供方法や時期等での認識の違い
- ◆病院と介護施設間のやりとりでケアマネが間で苦勞するケースがある



入退院支援ハンドブックの改訂にあたり、「北上市入退院支援作業部会」で何度も議論して改訂作業を行いました。

★「シン・ケアラボ@きたかみ」を11月と2月にそれぞれ開催しました★

～ 令和5年度統一テーマ: みんなで描こう“重層的支援体制”のカタチ ～

② とき: 令和5年11月13日(月)午後6時30分～8時30分
 ところ: さくらホール(小ホール)

参加者: 54名(スタッフ含む)

ゲスト: 北上市手をつなぐ育成会 菅原 幸二 さん

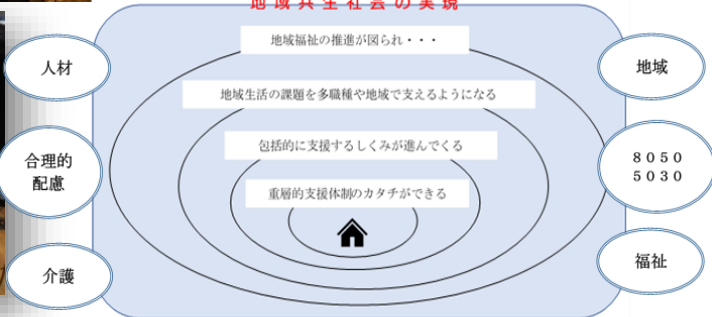
第2回テーマ: 「未来につながる“支援”のあり方を話し合おう Part2」

コロナ感染の終息が見えず、9月の開催予定を11月に延期して、令和5年度第2回を開催することができました。話題提供のゲストには「北上市手をつなぐ育成会」の菅原幸二さんをお迎えし、障がい者とその家族の暮らしの実際についてお話をいただきました。障がいを持ちながらも地域で生活していくことの苦勞、そして将来への不安など、改めて地域共生社会の実現、必要性をみんなが感じ取った時間でした。

話題提供を受けて、恒例の“ゆるい”グループトークに入りました。話題提供者の話を聞いて、“自分が関われそうな場面や活かせる場面”について話し合いを行い、グループ席替えのあと、それぞれのグループで出た場面について共有し、つながる支援についてまとめていただきました。



多職種が集まり、熱心にグループトークをして、発表していただきました。



③ とき: 令和6年2月6日(火)午後6時30分～8時30分
 ところ: さくらホール(小ホール)

出席者: 63名(スタッフ含む)

ゲスト: NPO法人わらすば 大内 玲子 さん

第3回テーマ: 「ひとつの支援がすべてにつながる循環し、共に生きる支援とは・・・？」

子どもの貧困連鎖の解消とひきこもりを出さない活動を続けている“NPO法人わらすば”の大内玲子理事長を話題提供者のゲストに迎え、子どもたちを取り巻く環境の今、忙しい母親、そして地域のお年寄り、この居場所には、すべての住民がつながり、共に生きる支援がありました。“子どもは宝”まさにそのとおりだと思います。



私の思い

- ・ 貧困の連鎖を断ち切る (学力をつける…学習支援)
- ・ ひきこもり予備軍を社会人として育てる (大人のひきこもり予防)



大内さんの話題を熱心に聞く参加者

話題提供を受けて、ゲストの大内さんもグループに入り、みんなで対話を開始しました。“つながる支援、共に生きる支援、重なり合う支援”を目指し、それぞれの体験をもとにした、それぞれの専門職の“あるある”を共有しながら、これからできる支援についてまとめました。多職種がつながる相談拠点があるといいですね。

グループトークや参加者の感想などは、在宅きたかみのホームページで毎回公開しておりますので、ぜひチェックしてみてください。



令和5年度は計3回開催できました。参加者、スタッフの皆さんありがとうございました。(大内さんと運営スタッフ)

★令和5年度 認定看護師等による出前研修★

令和4年度から始めた「認定看護師等による出前研修」について、今年度は9件の申込みがありました。特に「**摂食・嚥下障害看護**」と「**皮膚・排泄ケア**」の注文が多かったのが特徴でした。リピーターの施設申込みも多く、ピンポイントに研修内容のリクエストがあるので、様々な道具を使った演習も楽しくわかりやすく、受講者も充実した学びになっているようです。

◆摂食・嚥下障害看護◆

講師：岩手県立花巻清風支援学校 認定看護師 川村美幸氏

- 9/13 「嚥下機能低下～食事介助と口腔ケアのポイント～」
- 12/21 「高齢者の摂食嚥下機能 ～誤嚥・窒息の予防～」
- 2/16 「口腔ケア」
- 3/19 「高齢者の摂食嚥下機能～誤嚥の予防とその対策～」



【令和5年度開催状況（計9回）】

開催日	事業所種別	研修分野
6/22	特別養護老人ホーム	救急看護
6/23	認知症グループホーム	皮膚・排泄ケア
9/13	特別養護老人ホーム	摂食・嚥下障害看護
12/21	ショートステイ事業所	摂食・嚥下障害看護
12/27	特別養護老人ホーム	感染管理(看護協会)
1/10	特別養護老人ホーム	皮膚・排泄ケア
1/22	特別養護老人ホーム	皮膚・排泄ケア
2/16	認知症グループホーム	摂食・嚥下障害看護
3/19	特別養護老人ホーム	摂食・嚥下障害看護

◆皮膚・排泄ケア◆

講師：岩手県立中部病院 認定看護師 千田由美子氏

- 6/23 「スキンケアとオムツのあて方」
- 1/10 「スキンケアと保湿、尿漏れ対応と陰部のただれのケア」
- 1/22 「褥瘡予防ケア」



★わたしのきぼうノート・第2版を発行★

「わたしのきぼうノート作成班」開催

と き：令和5年9月25日(月)
午後6時30分～8時
ところ：北上済生会病院大会議室
出席者：13名(メンバー・事務局)
内容：「わたしのきぼうノート」の改訂内容を検討しました



「人生の心づもり」コーナーの設置

と き：令和6年2月10日～3月10日
ところ：市立中央図書館
・おすすめ図書展示、紹介
(作成班メンバー3名のおすすめ本)
・わたしのきぼうノート(第2版)の紹介、配布



◆◆ Topics 9月～12月 ◆◆

- 9月25日(月) 「わたしのきぼうノート作成班」を開催しました
- 10月3日(火) 在宅医療連携拠点に関する厚労省のヒアリングを受けました
- 10月12日(木) 第2回「北上市入退院支援作業部会」を開催しました
- 10月19日～20日 厚労省主催「在宅医療介護連携研修会」を受講しました
- 11月28日(火) 厚労省老人保健健康増進事業「調査検討委員会」に出席しました
- 11月29日(水) 「重層的支援体制整備ワーキンググループ勉強会」に出席しました
- 12月4日(月) 「紫波郡地域包括ケア推進支援センター」の視察を受け入れました
- 12月13日(水) 北上市在宅医療介護連携支援センター運営推進委員会を開催しました
- 12月18日(月) 北上市在宅医療介護連携推進協議会を開催しました



詳しくは市・長寿介護課へ
お問合せください

編集後記

発行が大幅に遅れてしまいました。その間、たくさんのイベントがあり紙面が間に合いません。ホームページには随時公開しておりますので、そちらもご覧いただけますと嬉しいです。3月になった途端に降り続く雪ですが、これからのお天気と、気がつくと桜の開花が待ち遠しい季節になりましたね(H)

発行／北上市在宅医療介護連携支援センター

〒024-8506 北上市九年橋3丁目15番33号
北上済生会病院1階
TEL:0197-65-6121 FAX:0197-65-6122
HP: <http://www.zaitaku-kitakami.com/>

